

研究分野		授業科目名		科目責任者
生理系分野		婦人科腫瘍病態生理学研究		本郷 淳司
開講年次	共通／専攻／選択		単位数	
1～4	必須専攻		20	
目的				
婦人科悪性腫瘍に関する分子生物学的診断とがん薬物療法を行うための、分子生物学的な知識を修得し基礎研究を実施する。				
授業到達目標				
(1) 婦人科悪性腫瘍の診断と治療の中での疑問点を解明するための作業仮説を立て、実証方法を検討することができる。 (2) 独自の研究テーマを構想し、実験計画を立て、その実証を行うことができる。 (3) 実験結果を適切に解釈し、論文として発表を行うことができ、そのレビューを受ける。				
授業計画				
月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	火・金	14:00 - 17:00	本郷 淳司	変異遺伝子発現ベクターの作成、培養細胞への遺伝子導入、DNA, RNA, 蛋白発現の解析、増殖能、形質転換能、腫瘍形成能の測定 など
評価方法				
(1) 1・2年次に中間発表へ出席する。 (2) 2年次に中間発表で発表する。 (3) APRIN e-ラーニングプログラム (eAPRIN) の必須単元を受講する。[受講期間：1年次に受講。] (4) 1週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ、科目責任者の認定印をもらい、学期ごとに提出する。				
課題 (レポート等) に対するフィードバック				
随時、実験ノートの提出により、実験の進捗状況をチェックし、助言・指導を行う。				
教科書				
ISBN-9781936113422, Molecular cloning : a laboratory manual (4th Edition), Michael R. Green, Joseph Sambrook, Cold Spring Harbor Laboratory Press, 2012				
参考書				
ISBN-9784897069272, 遺伝子工学実験ノート (上) (改訂第3版) DNA 実験の基本をマスターする, 田村隆明, 羊土社, 2009 ISBN-9784897069289, 遺伝子工学実験ノート (下) (改訂第3版) 遺伝子の発現・機能を解析する, 田村隆明, 羊土社, 2009				
準備学習 (予習・復習等)				
(1) 予習：背景となる先行研究論文に目を通すとともに、実験方法のプロトコルをあらかじめ整理しておく。 (2) 復習：得られたデータを整理し、結果を総括するとともに、次の研究計画の概略を企画する。 予習・復習それぞれに、1時間程度を費やすことが望ましい。				
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
当該領域において学位認定に値する卓越した研究成果をあげる。				
注意事項・メッセージ				
大学院生として、婦人科腫瘍学の知識と実技の習得、また基礎実験に熱心に取り組んで下さい。その中で研究、臨床に通じる logical thinking を身に付けて下さい。				